

## 令和4年度明るい選挙啓発授業実施要領

### 1 趣旨

児童・生徒・学生等を対象に選挙制度等についての授業を実施することにより、社会参加と政治・選挙を学ぶとともに、明るい選挙に対する関心を持たせることを目的とする。

### 2 主催

岩手県明るい選挙推進協議会（各支部） 市町村明るい選挙推進協議会（予定）

### 3 後援

岩手県選挙管理委員会 岩手県教育委員会（予定）

なお、実施学校が所在する市町村選挙管理委員会、市町村教育委員会の後援についても、主催者から依頼する場合がある。

### 4 実施時期

関係機関と調整の上、決定する。

### 5 実施対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、専門学校及び大学等とする。

※ 小学校での授業の場合、授業対象者は高学年に限る。

※ 実施対象には支援学校の小学部、中学部、高等部を含む。

### 6 実施内容

別紙1を参考に関係機関と調整の上、決定する。

### 7 実施申込み

別紙2の申込書により申し込むものとし、申込み先は、各市町村選挙管理委員会事務局とする。

### 8 その他

- （1）授業終了後、児童・生徒・学生等に対し、明るい選挙に対する関心等についてのアンケートを実施する。
- （2）授業終了後、実施対象（学校等）の担当者から授業に関しての感想を聞き取る。
- （3）高等学校、専門学校、大学等の授業においては、進学や就職等に当たって住所を移転した場合の住民票の異動について周知する。また、投票立会人への参加を呼びかける。
- （4）18歳未満の者を対象とした授業においては、保護者への参観の周知や、保護者向けの啓発チラシ等を配付し、家庭内で選挙について話し合う環境を醸成するとともに、保護者の投票立会人への参加を呼びかける。
- （5）政治・選挙に対する関心を高めるため、啓発授業の様子をホームページ等に掲載するなど、積極的に情報発信を行う。
- （6）明るい選挙啓発ポスターコンクールについて、啓発授業を活用して周知し、応募への働きかけを行う。
- （7）授業の実施にあたっては、マスクの着用や会場のこまめな換気を行う等の新型コロナウイルス感染症防止策を講じる。

県教育委員会 高等学校校長会	授業実施学校等	県選管 県明推協	県明推協支部	市町村選管 市町村明推協 市町村教育委員会
-------------------	---------	-------------	--------	-----------------------------

【周知】

- ・ 公立高校：県教育委員会事務局学校教育室に周知を依頼
- ・ 私立高校：学事振興課に周知を依頼
- ・ 小、中学校：各支部から市町村選管を通じて市町村教育委員会に周知及び学校の選定を依頼（様式集 様式１）

【申込】

- ・ 実施を希望する学校は市町村選挙管理委員会事務局に申込みを行う（実施要領 別紙２）

明るい選挙啓発授業の実施学校等を決定

県、市町村等の間で授業実施に係る役割等について協議（後援依頼（様式集 様式２））

報道機関へ情報提供

支部実施の場合は、県明推協に対し授業実施学校の決定報告を行う（様式集 様式３）

支部実施の場合は、県明推協に対し授業実施内容の決定報告を行うとともに、市町村選管・教委、支部委員等へ通知する（様式集 様式４）

市町村実施の場合は、県明推協に対し授業実施学校の決定報告を行う（通知添付様式）

明るい選挙啓発授業の実施

児童・生徒・学生等へのアンケート実施（様式集 様式５）  
 実施学校等の担当者の感想取りまとめ（様式集 様式６）

報道機関へ情報提供

支部実施の場合は、県明推協へ報告（様式集 様式７）

市町村実施の場合は、県明推協に対し実施結果の報告を行う（通知 添付様式）

明るい選挙啓発授業実施内容（参考例）

1 模擬投票実施タイプ（1 コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	10 分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法等）
・模擬投票 ・選挙クイズ ・開票結果発表	30 分	・実際の投票箱や記載台などを活用した投票を体験 （例：架空の候補者について、模擬用の投票用紙や選挙公報を配付し実施） ・開票作業中に選挙クイズを行う ・開票後、結果を発表する
・まとめ ・アンケート実施	10 分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

2 グループワーク実施タイプ（1 コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	10 分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法、グループワークの説明等）
・グループワーク ・発表	30 分	・少人数のグループワークにより生徒自身で考え発表する（例：若者の投票率が低いのはなぜか、投票率を上げるためのアイデア等）
・まとめ ・アンケート実施	10 分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

3 模擬投票・グループワーク実施タイプ（2 コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	30 分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法、グループワークの説明等）
・グループワーク ・発表	20 分	・少人数のグループワークにより生徒自身で考え発表する（例：若者の投票率が低いのはなぜか、投票率を上げるためのアイデア等）
・模擬投票 ・選挙クイズ ・開票結果発表	35 分	・実際の投票箱や記載台などを活用した投票を体験 （例：架空の候補者について、模擬用の投票用紙や選挙公報を配付し実施） ・開票作業中に選挙クイズを行う ・開票後、結果を発表する
・まとめ ・アンケート実施	15 分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

年 月 日

## 令和 4 年度「明るい選挙啓発授業」申込書

学校名		
参加予定者	学年	
	人数	
実施希望時期		
連絡先	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	
要望事項		

(記載例)

年 月 日

## 令和 4 年度「明るい選挙啓発授業」申込書

学校名		〇〇高等学校
参加予定者	学年	2 年
	人数	60 人
実施希望時期		10 月上旬
連絡先	担当者名	〇〇〇〇
	電話番号	***-***-****
	メールアドレス	*****@****. **, **
要望事項		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 〇〇について詳しく話して欲しい</li><li>・ 〇〇を貸し出して欲しい</li></ul>